

## 令和4年度全国学力・学習状況調査 調査結果に関する

### 教育長コメント（7月28日）

- 令和4年度全国学力・学習状況調査は、例年実施している国語、算数・数学に4年ぶりに理科を加えて実施され、本道の状況は、小学校のすべての教科で全国の平均正答率との差が縮まるとともに、小学校の理科、中学校の国語と理科の3教科で全国の平均正答率とほぼ同水準となるなど改善の傾向が見られます。
  
- 各市町村教育委員会及び学校では、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中、子どもたちの学びを保障するため感染症対策と教育活動の両立に向けて最大限に御尽力され、家庭、地域と連携を図りながら、校長のリーダーシップによる検証改善サイクルの充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善、望ましい生活習慣の確立などを着実に進めていただいております。一定の成果として現れてきつつあるものと受け止めています。
  
- 今後も、北海道に住む子どもたちが、確かな学力を身に付け、一人一人が自分のよさや可能性を伸ばすことができるよう、小学校と中学校が連携した取組を一層充実させ、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を実現するためのICTの活用を含めた授業改善や、学校、家庭、地域の連携協働による望ましい学習・生活習慣の確立、少人数学級編制の拡大、小学校高学年における教科担任制の推進など、本道の子どもたちの教育にかかわるすべての人たちが一体となった学力向上の取組を引き続き進めてまいります。

教育関係者や保護者の方々はもとより、広く道民の皆様のご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。